

厚木市カーボンニュートラルロードマップ（案） に対するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和4年12月1日（木曜日）から令和5年1月4日（水曜日）まで

2 意見の件数等

- (1) 意見をいただいた人数 1人
- (2) 意見の件数 6件
- (3) 案に反映した意見の数 0件

3 意見と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	反映したもの
1 全般			
1	<p>CO₂排出を減らすことだけにフォーカスしているのが、非常にシンプルです。部門ごとに再エネ導入、省エネの目標値を指標として進捗管理していくことになるので分かりやすいと思います。進捗状況をタイムリーに市民に提示してください。</p> <p>しかし全体として再エネと省エネに視点が偏り過ぎて、節約やガマン、負担を強調するメッセージになることが懸念されます。</p>	<p>厚木市カーボンニュートラルロードマップ（以下「ロードマップ」といいます。）は、2050年にカーボンニュートラルを達成するために必要な目標をできるだけ単純化した数値で示したものです。</p> <p>進捗管理については、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の年次報告において進捗状況をお知らせします。</p> <p>また、目標達成のための取組を実施する中で、市民の皆様が負担と感じないようにメッセージを発信していきます。</p>	

2	<p>1.5℃目標など背景の解説、2050年CN達成した厚木市のイメージやビジョン、どんなライフスタイルを目指すのか、などへの言及が欲しいです。脱炭素だけでなく、脱炭素しながら暮らしやすく安全で豊かなまちづくりを目指すことが伝わるロードマップ、希望を持って脱炭素に取り組めるロードマップにできればいいと思います。</p>	<p>今後、ロードマップのアクションプランという形で、目指すライフスタイル等を提示していきたいと考えています。</p>	
2 再生可能エネルギーの推進			
3	<p>再エネ導入が地域のCO₂削減に直接の効果となるよう、自家消費を増やすことが望ましく、自己所有以外にオンサイトPPA、さらに地域内のオフサイトPPAを積極的に位置付けてください。また大型蓄電池（Virtual Power Plant）も組み込んでください。</p>	<p>御意見については、今後施策を実施する中で参考とさせていただきます。</p>	
4	<p>エネルギーの地産地消、地域内循環を本格的に可能にする方法としての地域新電力をなるべく早く立ち上げることをロードマップに位置付けてください。現時点では経営環境がひどいので、調査段階であろうと思いますが、環境が整ったときにすぐ動き出せるよう準備を進めておくべきです。</p>	<p>地域新電力については、エネルギーを取り巻く環境が整ったときに向け、調査、研究を進めます。</p>	

3 データ		
5	<p>1 ページの 2013 年の CO₂ 排出量について、現行の地球温暖化対策実行計画は 2,455 千 t であるのに対し、ロードマップでは 1,919 千 t とデータが異なります。</p> <p>ベースになるデータなので、何が変わったのか示すようにしてください。計算方法や何らかの係数が変わったのでしょうか。それとも集計や計算の間違いでしょうか。今回の数字が妥当であるならいいのですが、今後の混乱にならないようにしてください。</p>	<p>現行の地球温暖化対策実行計画では、環境省が公表している自治体排出量カルテの数値を記載しています。</p> <p>今回、ロードマップの策定に当たり、市内の CO₂ 排出量について独自の推計を行ったところ、産業部門の推計値が大幅に少なくなったことで、1 ページの CO₂ 排出量については、これまでの地球温暖化対策実行計画とは数値が異なります。</p> <p>今後は、市独自の推計を基に進捗管理を行います。</p>
6	<p>4 ページ家庭部門の 2050 年度再エネ導入による削減が 61 千 t で、2040 年度よりも減っているのは、初期の設備の撤去等による減少ですか？必要量で書いてあるにしても違和感があるので 2040 年度のレベルに維持しておくべきかと思います。(数字合わせが難しいでしょうか？)</p>	<p>家庭部門については、人口減少に伴い家屋が減少することにより、再エネの導入量が減少することを想定しているものです。</p>

4 お問合せ先

- (1) 担当課名 環境政策課
- (2) 連絡先 046-225-2749

5 結果公開日

令和 5 年 2 月 6 日 公開